

# 2021年3月期 第1四半期決算



トヨタ自動車株式会社  
2020年8月6日

新型コロナウイルスにより亡くなられた方々に  
深くお悔やみ申し上げますとともに、  
療養されている方々にはお見舞いを申し上げます。  
そして、医療従事者の方々をはじめ、  
日々懸命に取り組まれている皆様に  
心より感謝申し上げます。

また、トヨタのクルマをご愛顧いただいている  
世界中のお客様、そして私どもの企業活動を  
支えていただいている株主の皆様、  
販売店・仕入先の皆様に深く感謝申し上げます。

# 将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確実性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆ 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
  - ◆ 為替相場(主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、ロシア・ルーブル、加ドルおよび英国ポンドの相場)、株価および金利の変動
  - ◆ 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
  - ◆ 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
  - ◆ 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
  - ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいて当社の自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めた当社のその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
  - ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
  - ◆ タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
  - ◆ ブランド・イメージの毀損
  - ◆ 仕入先への部品供給の依存
  - ◆ 原材料価格の上昇
  - ◆ デジタル情報技術への依存
  - ◆ 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
  - ◆ 生産および販売面への影響を含む、自然災害および感染症の発生・蔓延による様々な影響
- 以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知かつ内閣府で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以て「公表」されたものとみなされま

す。

## 2021年3月期 第1四半期 実績

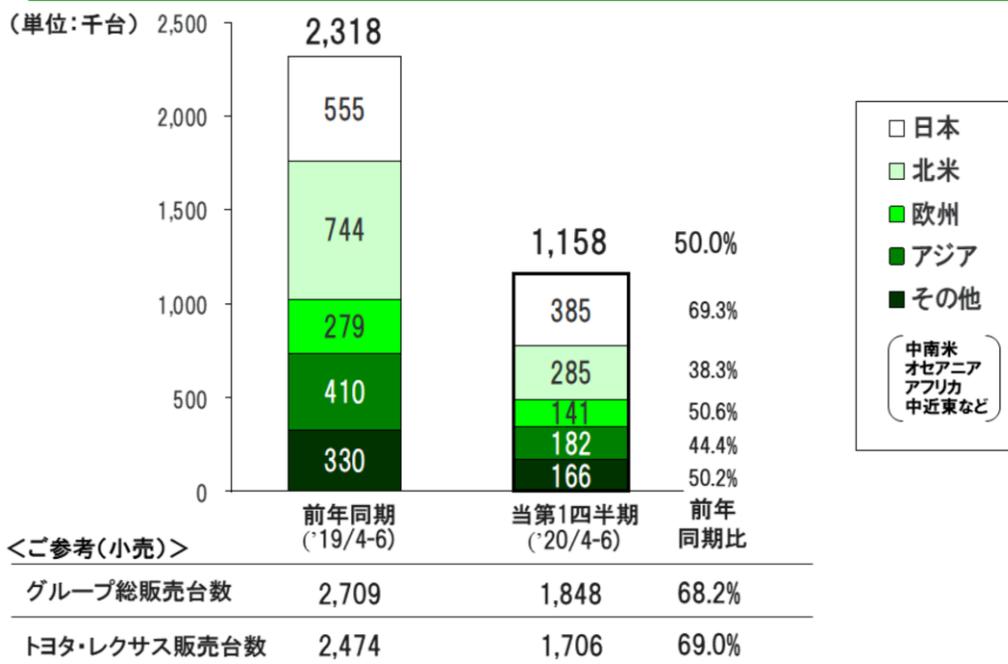
## 2021年3月期 見通し

※当社は、2021年3月期第1四半期より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しました。  
そのため、次頁以降はIFRSに基づき作成しております。

2021年3月期第1四半期よりIFRSを適用したため、  
次頁以降はIFRSに基づき作成しております。

# 連結販売台数

TOYOTA



4

当第1四半期の連結販売台数は、前年同期に対して50%となる、115万8千台となりました。

これは、主に新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各地域において販売が減少したことによるものです。

また、トヨタ・レクサス販売台数は、前年同期に対して69%となる、170万6千台となり、5月時点見通しの前提としていた約60%を上回って推移しております。

# 連結決算要約

TOYOTA

(単位:億円)

	当第1四半期 (‘20/4-6)	前年同期 (‘19/4-6)	増減	
<b>営業収益</b>	<b>46,007</b>	<b>77,212</b>	<b>△31,204</b>	
<b>営業利益</b>	<b>139</b>	<b>7,406</b>	<b>△7,266</b>	
営業利益率	0.3%	9.6%		
営業外損益	1,043	1,103	△60	
持分法による投資損益 *1	△125	1,047	△1,173	
<b>税引前利益</b>	<b>1,182</b>	<b>8,509</b>	<b>△7,327</b>	
<b>親会社の所有者に 帰属する当期利益</b>	<b>1,588</b>	<b>6,191</b>	<b>△4,602</b>	
当期利益率	3.5%	8.0%		
為替 レート	米ドル ユーロ	108円 119円	110円 123円	2円円高 4円円高

\*1 うち、日本△570(前年同期比△1,227)、中国412(同+95)、その他33(同△41)〔‘20/4-6〕

5

当第1四半期の連結決算は、

営業収益、 4兆6,007億円

営業利益、 139億円

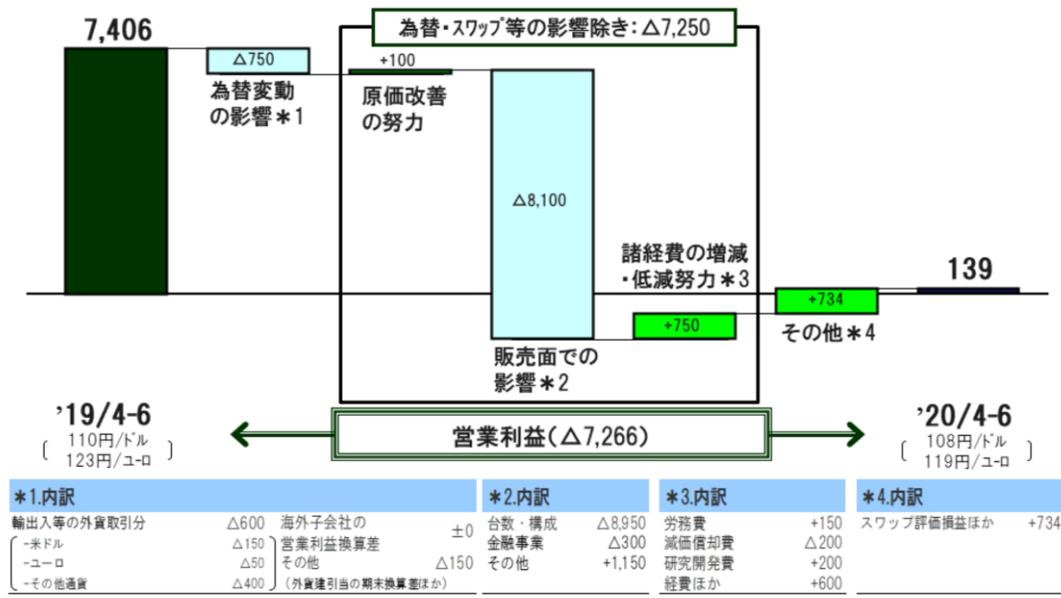
税引前利益、 1,182億円

当期利益、 1,588億円

と、大幅な販売台数減少の中でも  
黒字を確保できました。

# 連結営業利益増減要因

(単位:億円)



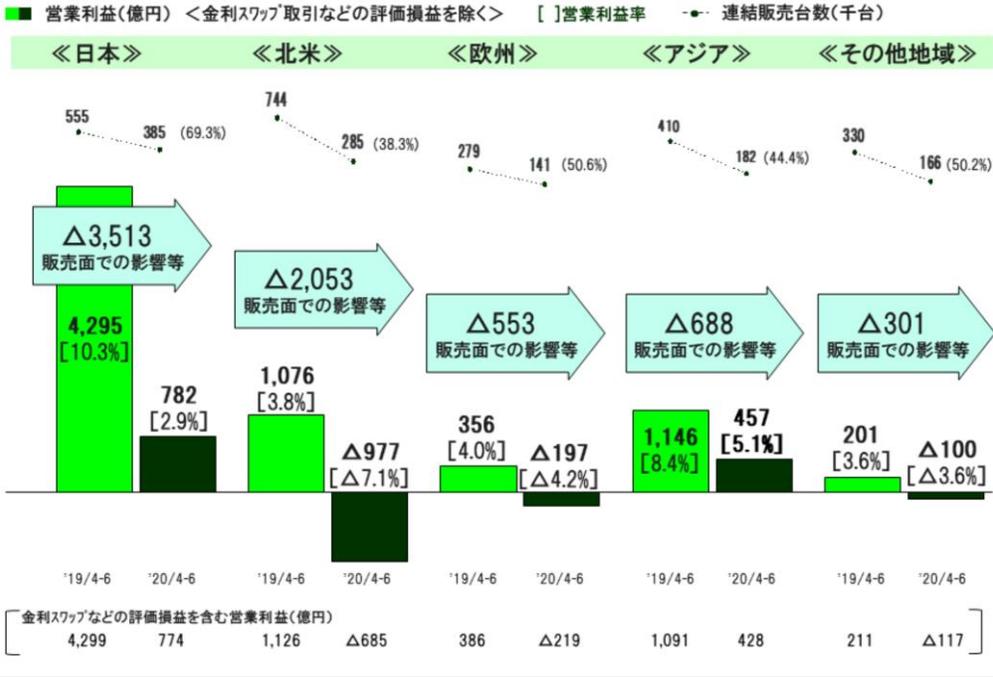
営業利益の増減要因ですが、  
 為替変動の影響により、750億円の減益、  
 原価改善の努力は、100億円の増益となりました。

販売面での影響は、  
 主に新型コロナウイルス感染拡大に伴う販売台数の  
 減少により、8,100億円の減益となりました。

諸経費の増減・低減努力は、750億円の増益となりました。

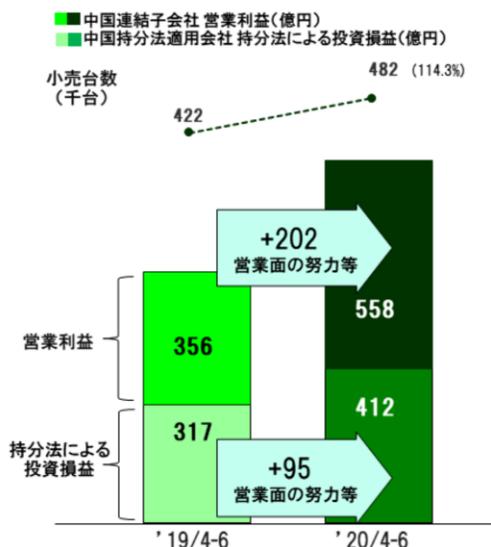
この結果、為替・スワップ評価損益等の影響を除いた  
 営業利益は、7,250億円の減益となりました。

# 所在地別営業利益

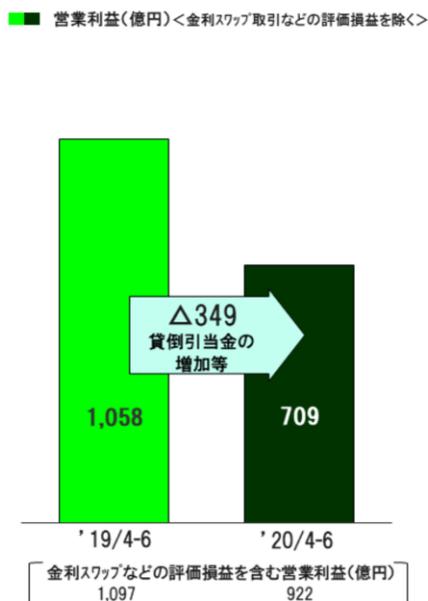


所在地別の営業利益については、主に新型コロナウイルス感染拡大に伴う販売台数の減少により、各地域ともに減益となりました。

## 《中国事業の状況(ご参考)》



## 《金融セグメント》



中国事業については、  
連結子会社の営業利益は、  
営業面の努力などにより  
前年同期を202億円上回る558億円となりました。

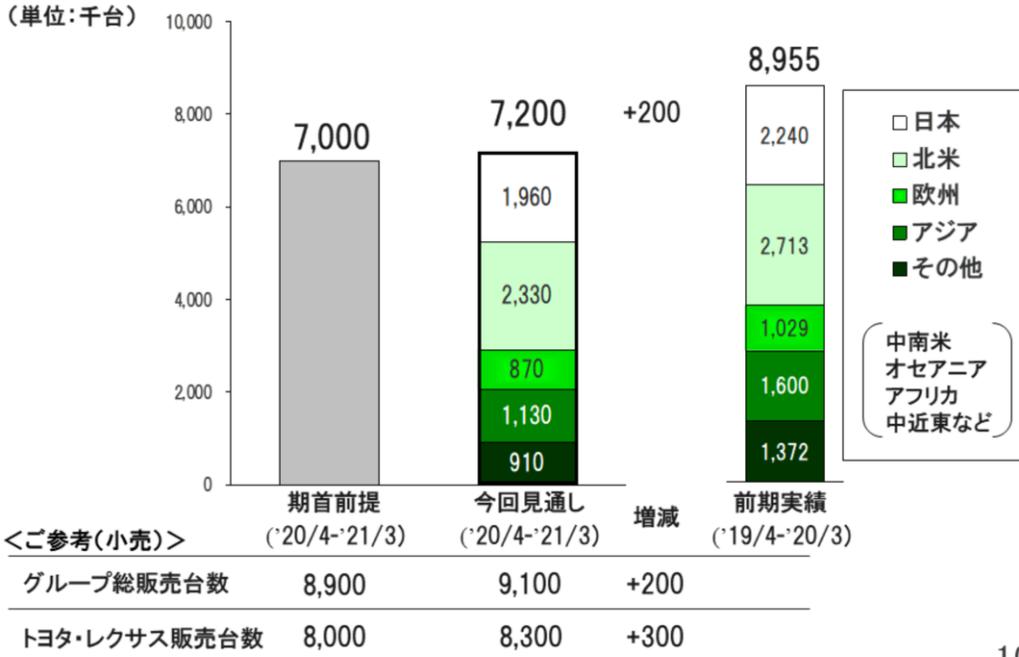
持分法適用会社の持分法による投資損益は、  
営業面の努力などにより  
前年同期を95億円上回る412億円となりました。

金融セグメントについては、  
貸倒引当金の増加などにより、  
前年同期を349億円下回る709億円となりました。

2021年3月期 第1四半期 実績

2021年3月期 見通し

## 連結販売台数見通し



10

連結販売台数の見通しにつきましては、期首前提に対し、20万台の増加となる720万台を見込んでおります。

地域別の内訳については記載の通りでございます。

また、トヨタ・レクサス販売台数については、期首前提に対し、30万台増加となる、830万台を見込んでおります。

今後のトヨタ・レクサス販売台数の回復ペースについては、前年同期に対して、第2四半期は約85%、第3四半期は約95%、第4四半期は約105%と、徐々に回復していくことを見込んでおります。

# 連結決算見通し要約

TOYOTA

(単位: 億円)

	今回見通し (‘20/4-‘21/3)	期首見通し (‘20/4-‘21/3)	増減	前期実績 (‘19/4-‘20/3)
<b>営業収益</b>	<b>240,000</b>	<b>240,000</b>	<b>±0</b>	<b>298,665</b>
<b>営業利益</b>	<b>5,000</b>	<b>5,000</b>	<b>±0</b>	<b>23,992</b>
営業利益率	2.1%	2.1%		8.0%
営業外損益	3,900	未定	-	3,937
持分法による投資損益	2,000		-	3,102
<b>税引前利益</b>	<b>8,900</b>		<b>27,929</b>	
<b>親会社の所有者に 帰属する当期利益</b>	<b>7,300</b>		<b>20,361</b>	
当期利益率	3.0%		6.8%	
為替 レート	米ドル ユーロ	105円 115円	±0円 ±0円	109円 121円

11

通期の業績見通しにつきましては、  
連結販売台数の増加を見込んでいる一方、  
今後の新型コロナウイルスの感染拡大や  
収束の状況等によって、  
経営環境が大きく変動する可能性があることなどを踏まえ、  
営業収益および営業利益については、  
5月時点の見通しを変えておりません。

なお、  
税引前利益は、8,900億円  
当期利益は、7,300億円を見込んでおります。

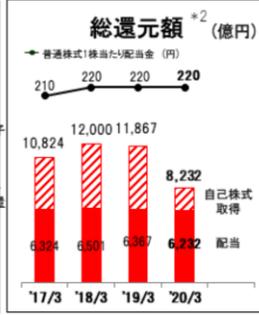
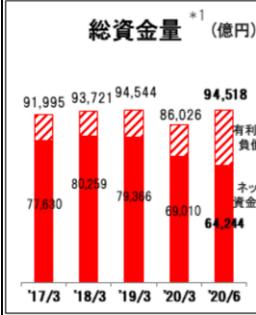
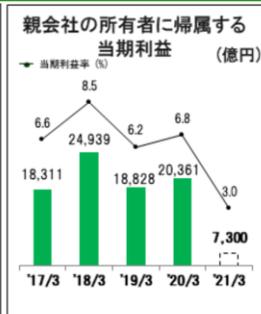
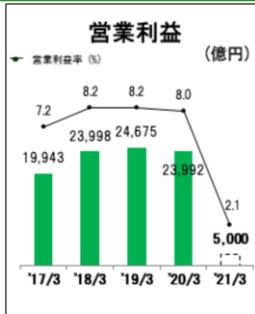
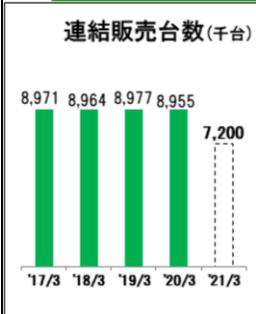
先行き不透明な中ではありますが、  
引き続き、TPS・原価の造り込みを強化しながら、  
未来に向けた種蒔きはしっかりと継続し、  
モビリティ・カンパニーへの変革を加速させてまいります。

# (ご参考)業績推移

'17/3~'19/3:米国会計基準  
'20/3~'21/3:IFRS

TOYOTA

〔---〕 見直し



\*1 総資金量：金融事業を除いた、現金および現金同等物、定期預金、公社債および信託ファンドへの投資  
\*2 配当には第1回AA型種類株式への配当を含む \*3 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額 \*4 '20/3期より減価償却方法を変更

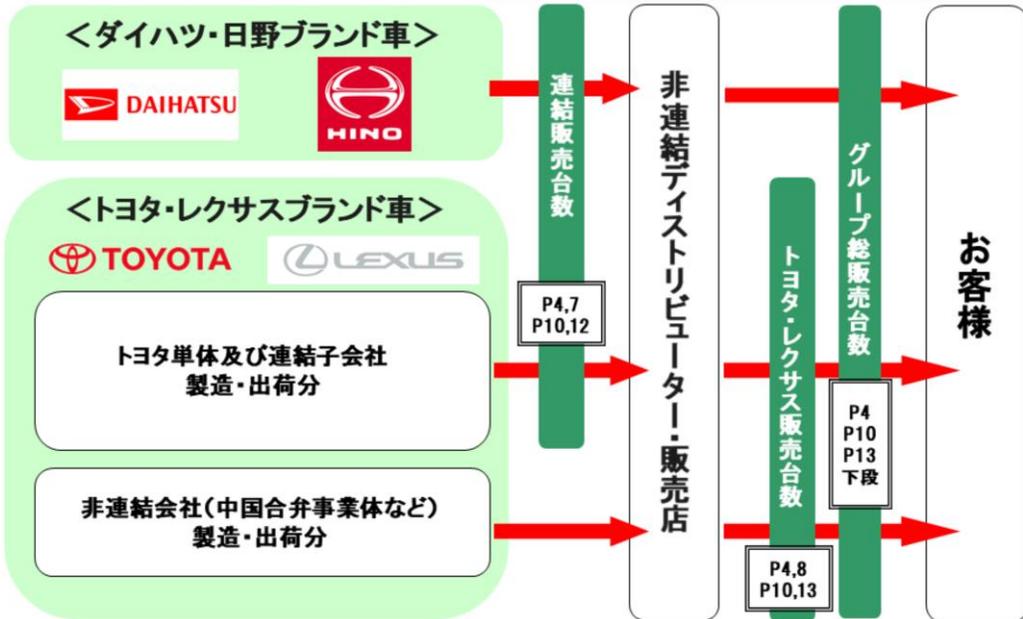
# (ご参考)台数見通し

(単位:千台)

			今回見通し ( ' 20/4-' 21/3)	期首前提 ( ' 20/4-' 21/3)	増減	前期実績 ( ' 19/4-' 20/3)
ト ヨ タ ・ レ ク サ ス	生産 *1	国内	2,800	未定	-	3,304
		海外	5,200		-	5,437
		合計	8,000		-	8,741
	販売 (小売) *2	国内	1,380		-	1,587
		海外	6,920		-	7,879
		合計	8,300		8,000	+300
グループ総販売(小売)*2 …ダイハツ、日野ブランド含む			9,100	8,900	+200	10,457

\*1. 非連結会社による生産台数を含む \*2. 非連結会社による販売台数を含む

# (ご参考)販売台数について



\*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り